

地域中小企業への長期実践型インターンシップ！ ～社長のミギウデが語る、実体験の紹介～

船橋(株)は創業100年の業務用レインウェア、防水エプロンメーカーです。

従業員数35名。(社員15名) 社歴は長いけれど、現在社員の3分の2は20～30代。

若手の採用のカギは、2014年から始めた長期実践型インターンシップにあり！



これまで14名の長期実践型インターンシップ生を受け入れ、

補助金申請、新規事業、イベント企画、クラウドファンディング。YOUTUBEなど

社長がやりたいけどできなかったことに社長のミギウデとして取り組んでもらいました。

プログラム作りで重要視するのは

企業にとっても学生にとってもWIN-WINであること！

→学生が高いモチベーションを維持し続けられる

①フェーズに合わせ変更する受入体制 ②魅力的なPJ ③コーディネーターの存在 で

学生が“当事者意識”と“目的意識”を持てるよう意識しています。

「インターン生の成長なくして、事業の成功なし
事業の成功なくして、インターン生の成長なし」

